

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【公開番号】特開2019-17694(P2019-17694A)

【公開日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-005

【出願番号】特願2017-138586(P2017-138586)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月18日(2021.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の発射操作により発射された遊技球が遊技盤に設けた始動口に入球することに基づいて当落抽選を行い、該当落抽選の結果に基づいて特別図柄の変動表示を行い、前記当落抽選に当選にして前記特別図柄が所定態様で停止表示すると、所定の利益を付与する遊技機において、

前記当落抽選における当選確率に関する設定値を表示可能な設定値表示手段と、

当該遊技機の電源が投入された際に所定条件が成立した場合に、前記設定値を決定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

前記設定値が新たに決定されることで、前記当落抽選を含んだ遊技の進行を可能にする遊技進行可能化手段と、

を備え、

前記設定値が未確定の状態にて当該遊技機の電源が遮断された場合には、前記設定値が未確定の状態に復帰可能であり、

さらに、通常の遊技中には、前記特別図柄の変動を示す態様あるいは前記特別図柄の停止を示す態様で所定の特別図柄表示器が制御されるものの、前記設定値が未確定の状態では、前記通常の遊技中には現れない態様で前記特別図柄表示器が制御される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

また、近年では設定値を搭載した遊技機等、多種多様な遊技性を持った遊技機が多数提案されており、従来の遊技機とは不正行為やエラーの態様も異なる。そのため、新たな不正行為や不具合に対して十分な対策が施されておらず、遊技機の信頼性が低下してしまう虞があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記の実情に鑑み、信頼性の高い遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述の目的を達成するための有効な解決手段を以下に示す。なお、必要に応じてその作用等の説明を行う。また、理解の容易のため、発明の実施の形態において対応する構成等についても適宜示すが、何ら限定されるものではない。

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

所定の発射操作により発射された遊技球が遊技盤に設けた始動口に入球することに基づいて当落抽選を行い、該当落抽選の結果に基づいて特別図柄の変動表示を行い、前記当落抽選に当選にして前記特別図柄が所定態様で停止表示すると、所定の利益を付与する遊技機において、

前記当落抽選における当選確率に関する設定値を表示可能な設定値表示手段と、

当該遊技機の電源が投入された際に所定条件が成立した場合に、前記設定値を決定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

前記設定値が新たに決定されることで、前記当落抽選を含んだ遊技の進行を可能にする遊技進行可能化手段と、

を備え、

前記設定値が未確定の状態にて当該遊技機の電源が遮断された場合には、前記設定値が未確定の状態に復帰可能であり、

さらに、通常の遊技中には、前記特別図柄の変動を示す態様あるいは前記特別図柄の停止を示す態様で所定の特別図柄表示器が制御されるものの、前記設定値が未確定の状態では、前記通常の遊技中には現れない態様で前記特別図柄表示器が制御される

ことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機においては、信頼性の高い遊技機を提供することができる。